

平成21年度勝山市政策基本目標管理外部評価報告書

平成22年12月10日

勝山市総合行政審議会

平成21年度における勝山市の重要政策の外部評価にあたって

勝山市が新たな時代の要請や市民のニーズに対応できる行政を実現するため、政策についての外部評価制度により、市民に開かれた市政を推進している点をまず評価したいと思います。

さて、平成22年9月24日に、市長からの諮問を受けて外部評価を託された当審議会では、11月4日まで計4回にわたり審議会を開催し、慎重に審議を行いました。

各政策目標に対する達成度およびそれらのプロセスなどについて評価を行った結果、ほとんどの項目において内部評価と同等の評価としましたが、一部政策について評価の変更を行い、全体としては内部評価よりも厳しい評価を行いました。

市におかれては、十分な成果のなかった項目についてはさらに積極的にかつ社会経済環境の変化に応じた政策を推進されるようお願いしたいと思います。

また、平成23年度以降も継続する事業については、審議の過程で出された意見等も参考にしながら、新たな行政運営の指針となる「第5次勝山市総合計画」の中に位置づけるなどして、さらに事業内容を見直し、改善することを強く要望します。

平成22年12月10日

勝山市総合行政審議会
会長 羽生 英昭

1. 評価対象

評価対象は、市長がPDCAサイクルにより政策管理している「平成21年度政策基本目標管理結果」の重点項目を基本とした。ただし、事務事業としての性格が強く政策評価になじまない重点項目については、評価対象から割愛若しくは複数項目をひとつの重点項目にまとめて評価対象とした。

その結果、61の重点項目が評価の対象となった。この61項目を第4次勝山市総合計画の体系に沿って政策ごとにまとめた。

2. 評価基準

(1) 内部評価

内部評価は、市長が「1. 評価対象」により評価の対象とした政策について自ら評価を行ったものである。

各部長から提示された平成21年4月政策ヒアリングにおける政策目標に対する平成22年3月末現在の達成状況を基準に重点項目ごとの難易度を勘案して最終的に市長が次の1から5までの基準に沿って評点を付した。

まったく成果がなかった重点項目	1
あまり成果がなかった重点項目	2
最低限の成果はあった重点項目	3
かなりの成果があった重点項目	4
十分な成果があった重点項目	5

なお、政策の評点は各重点項目の評点の平均値を取り、小数点以下第二位を四捨五入して小数点以下第一位まで表示した。

(2) 外部評価

外部評価は、「1. 評価対象」により評価対象とした政策について市長の諮問を受けた勝山市総合行政審議会が客観的に評価を行ったものである。

市長から提示された内部評価の結果を参考に事務局からの説明を受け、内部評価と同じ基準で市民の目線により評点を付した。

なお、総合行政審議会による審議の過程において委員から提出された政策に対する意見について外部評価のなかに記載したので今後の政策推進の参考とされたい。

平成21年度勝山市政策基本目標管理外部評価

1. 総括表、目次

項目名	内部評価		外部評価		ページ
1. 市民が参加する 21 世紀の夢のあるまちづくり(5項目)					
・市民参加のしくみづくり	4項目	4.5	4項目	4.5	1
・情報化の推進	1項目	4.0	1項目	4.0	2
・多様な交流活動の展開	2項目	5.0	2項目	5.0	2
・効果的な行財政運営	9項目	4.2	9項目	4.0	3
・地方分権と広域行政への取り組み	1項目	3.0	1項目	3.0	6
2. 少子・長寿化等に対応した人にやさしいまちづくり(5項目)					
・医療体制の整備	1項目	4.0	1項目	4.0	6
・共働きを支える体制づくり	2項目	3.5	2項目	3.0	6
・子育て支援等の充実	1項目	5.0	1項目	5.0	7
・生活の自立に向けた福祉の充実	3項目	4.0	3項目	4.0	7
・安定した年金・保険体制等の確立	1項目	5.0	1項目	5.0	8
3. 産業とまちのにぎわいなど若者に魅力あるまちづくり(4項目)					
・農林水産業の振興	5項目	4.0	5項目	4.0	8
・工業等の充実	3項目	4.0	3項目	4.0	9
・観光リゾート産業の推進	3項目	2.7	3項目	2.7	11
・中心市街地の形成とにぎわいのネットワーク	2項目	5.0	2項目	4.5	12
4. 環境に配慮した誰もが住みたくなる安全なまちづくり(6項目)					

・交通体系の整備	3項目	3.3	3項目	3.3	12
・快適で安全なまちづくりの推進	4項目	4.3	4項目	4.3	13
・救急・災害等の医療体制の整備	1項目	4.0	1項目	4.0	14
・循環型社会の構築に向けた供給処理体制の整備	3項目	3.7	3項目	3.7	14
・総合的な雪対策の推進	1項目	3.0	1項目	3.0	15
・質の高い住環境整備	2項目	5.0	2項目	5.0	15
5. 誰もが学び心が通うふれあいのまちづくり(3項目)					
・学校教育の基盤整備と環境の充実	2項目	4.0	2項目	4.0	16
・次世代を担う青少年を地域で育てる	3項目	3.7	3項目	3.7	16
・伝統と歴史に培われた文化の継承	4項目	4.0	4項目	4.0	17
合計	61項目		61項目		
		61項目の平均評価点	4.0	4.0	

勝山市による内部評価

施策名	重点項目・目標	内部 評点
-----	---------	----------

1. 市民が参加する21世紀の夢のあるまちづくり

市民参加のしくみづくり	広報広聴活動の充実	<p>市ホームページの充実 現行の市ホームページについて課題点を整理し、それを踏まえてリニューアルを行うことによって勝山市のイメージアップにつなげていく。 また、観光情報や平泉寺の世界遺産登録関連情報など、庁内各課との連携を強化しながら、誰にもわかりやすいホームページを目指す。</p>	4
		<p>市広報の充実 市民に対しわかりやすく、親しみやすい広報作成を目指す。</p>	5
	まちづくりへの市民参加と市民対話の推進	<p>市長となんでも語ろう会(若者世代との語ろう会) (1) 定例の語ろう会への参加者の前年比増を目指す。 平成20年度実績: 平均122人 5月21日 154名 8月27日 122名 2月25日 90名 (2) 三中学校区における若者世代との語ろう会を2回開催する。</p>	4

勝山市総合行政審議会による外部評価

意見	外部 評点
----	----------

<p>かなりの成果があったと認める。 今後は各課に情報提供の温度差が出ないよう更新のチェック機能を充実してほしい。</p>	4
<p>十分な成果があった。 年配の方ほど広報を見ることが少ない。広報のあり方として活字以外の方法でまんべんなく伝える工夫が必要である。 「歴史の散歩道」が冊子化されたように、今後も広報の連載記事の単行本化などを視野に入れていただきたい。</p>	5
<p>かなりの成果があったと認める。 今後は、高齢者や若者に積極的に参加してもらえるような仕掛け、システムを考えていただきたい。</p>	4

	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">エコミュージアム構想推進のしくみづくり</p>	<p>エコミュージアムの推進(若者世代参入の仕組みづくり)</p> <p>(1)勝山市エコミュージアム協議会と協働し、3ヵ年事業のうちの2年目として「わがまちげんき発展事業」を展開し、エコミュージアムによるまちづくりを推進するとともに、助成率を3年間かけて徐々に縮小することにより各団体の自立を図る。</p> <p>(2)次代を担う若者」を育てる仕組みづくり</p> <p>第5次総合計画の中で、エコミュージアムの推進にあたり次代を担う若者の意識調査を織り込み、ニーズを分析して、若者がエコミュージアム推進に参加できる仕組みを構築する。</p> <p>(3)まちかどミニ博物館の取り組み</p> <p>まち全体を屋根のないまるごと博物館としてとらえる「まちはまるごと博物館」を進める中で、まちなかに賑わいを呼び込むためのひとつの方策として、「まちかどミニ博物館」の実現に向けた取り組みを進める。</p>	<p style="text-align: center;">5</p>	<p>十分な成果があったと認める。</p> <p>市民がより参加しやすい様々な取り組みを行ったことは評価できる。これらの取り組みを今後どのようにまちづくりに活かしていくのが課題である。</p>	<p style="text-align: center;">5</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">情報化の推進</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域情報化の推進</p>	<p>地域間における情報通信格差の是正</p> <p>(1)地上デジタル放送完全移行に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平泉寺町平泉寺区および小矢谷地区については、4月に放送事業者3社による実地調査を行う。その結果を受け、各区で各戸受信とするか共同受信とするかを決定していただき、共同受信を選択した場合、国及びNHKの助成制度についてのサポートをする。 ・暮見地区については、共同受信を希望しており、その設備にかかる費用に対する国の助成を受けるための条件を満たすかどうかを、5～6月頃に総務省北陸総合通信局から職員を派遣してもらい、再度実地調査を依頼する。 ・総務省福井県テレビ受信者支援センターと連携し、市民が集まる行事の席上及び市広報5月号で、地上デジタル放送についてのPRを実施する。 	<p style="text-align: center;">4</p>	<p>かなりの成果があったと認める。</p>	<p style="text-align: center;">4</p>

		<p>(2) 公共施設の地上デジタル放送対応 平成20年度に実施した調査結果を基に、各施設の受信設備のデジタル対応についての技術的調査を6月頃に実施予定。その結果を受け、改修が必要な施設については、その対応について検討を行う。</p> <p>(3) 北谷地区のブロードバンド通信サービス提供 ・北谷地区の全戸に対し、ブロードバンド通信のニーズ調査を行い、その結果を受け、最適な整備方法を通信事業者とともに検討を行う。</p>			
多様な交流活動の展開	ふれあい市民との交流促進	<p>これから世代への支援</p> <p>(1) 移住検討者への移住に関する情報提供 (2) 「ワーキングホリデー」と連携した移住促進の取り組み (3) 市ホームページやパンフレットによる情報提供</p>	5	見学が7家族でそのうち移住が4家族は、割合としては多いので成果があったと認める。 移住してきた人たちのその後のサポートを行政や関係機関で制度化できないかを検討されたい。	5
	恐竜を活かしたまちづくり	<p>恐竜王国推進事業(ダイノソーバレー構想)</p> <p>エコミュージアム市内推進体制「恐竜王国推進チーム」が主体となって、これまで同様、恐竜博物館、県政策推進課と連携を密にし、ダイノソーバレー構想と勝山市の恐竜を活かしたまちづくりをさらに推進する。</p>	5	十分な成果があったと認める。 日本ジオパークに登録されたことで大きなPR効果があった。また、恐竜博物館との連携が強化されたことは評価する。 今後は、ジオパークが身近に感じられるよう市民への周知に努められたい。	5
効果的な行財政運営	行政組織等の効率的運用	<p>組織目標管理の推進</p> <p>今年度も引き続き、未来創造課の「政策基本目標」と勤務評価制度の中の「組織取組目標」及び「職員取組目標」を連動させ部及び課の目標・実績が勤務評価に反映するよう制度の管理を行う。</p>	5	かなりの成果があったと認める。組織目標管理は勤務評価制度と一体として進めていくべきものである。勤務評価制度に更なる改善点を求めていくのであれば、組織目標管理もこれに合わせて評価は4とする。	4
		<p>政策評価制度の推進</p> <p>(1) 年2回の政策ヒアリング及び総合行政審議会による外部評価 →市長によるPDCAサイクルでの政策管理を継続 ・政策ヒアリングによる政策管理と「組織目標管理」、「行革進行管理」の連携 ・次期総合行政審議会委員の選考(現在の審議会の任期はH21.9)、男女比、年齢構成に配慮した市民の目線での委員会構成を目指す (2) 次期総合行政審議会の選考について、引き続き女性登用率35%以上を目指す。</p>	4	かなりの成果があったと認める。 総合行政審議会の女性登用率を高めたことで、外部評価面で具体的にどのような良い点が生まれたのかを検証する必要がある。	4

	<p>勤務評価制度の推進</p> <p>(1) 第5次改訂版策定(20年度見直し内容を反映)</p> <p>(2) 主事及び技能労務職の勤務評価を開始(評価結果は22年度の勤勉手当に反映)することにより、全職員の勤務評価を実施する。</p> <p>(3) 勤務評価研修の実施(専任講師:4回) 本年度より、勤務評価精度をより効果的に実施していくための主任・主幹級職員研修を行う予定。</p> <p>(4) 検討委員会を開催し、より良い制度を目指し検討を行う。</p>	4	かなりの成果があったと認める。	4
	<p>窓口業務の効率化(窓口対応の向上と総合案内業務の確立)</p> <p>(1) 高齢化率が高い当市では高齢者の来庁が多くなると予想される。高齢者が気軽に訪れられるよう、分かりやすく温かい雰囲気に対応することに努める。</p> <p>(2) 課等の業務内容を把握し、より一層のワンストップサービスに努める。 ・笑顔でのあいさつ、声かけを徹底し、市役所のイメージアップを図る。 ・市民の目線に立った対応に努める。</p> <p>(3) 高齢者や身体の不自由な方への対応として、担当課に来てもらう等、連絡を密にする。 ・事務の迅速、正確性を図る。</p>	5	十分な成果があったと認める。 しかし、まだあいさつや窓口の対応について部署によって意識の差があることを認識していただきたい。	5
	<p>市民相談業務の確立</p> <p>消費者相談窓口の拡充に努める。</p> <p>・消費者問題全般の相談を受け付け、消費者が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる社会実現を図る。</p> <p>・PIO-NET への早期入力をし、県消費者センターや国民生活センターと連絡を密にし、全国ネットワークの構築を図る。</p> <p>・HPの活用、チラシの配布で被害拡大防止を図る。</p> <p>・消費生活講座を開催し、悪質商法被害防止に努める。</p> <p>・相談室の環境改善に努める。</p> <p>・弁護士による相談を実施する。(7月より毎月1回)</p> <p>・消費生活相談員のレベルアップ研修に出席する。</p>	5	十分な成果があったと認める。より多くの人に学習会、出前講座等を受ける機会を提供するため、広報に努められたい。	5

	財政の効率的運用	<p>中期財政計画の見直し 平成20年度普通会計決算及び国の地方財政への対応状況を検証し、中期財政見直し(平成21年度改訂版)を10月中旬までに作成し、議会報告後市民への公表(HP)を行う。</p>	3	<p>あまり成果がなかったと認める。 国の地方財政計画などが不透明という状況であったとはいえ、中期財政計画の見直しという目標が達成できなかったため、最低限の評価があったとは認められない。評価は2とする。</p>	2
		<p>一般競争入札の全面導入、総合評価落札方式、電子入札導入 (1) 物品等、その他業務委託の条件付一般競争入札の導入 (2) 総合評価落札方式の入札方式の試行 (3) 電子入札導入の検討(再掲)</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 業者が登録する際には、資格や免許等を記入してもらうことは重要なので、手続きの煩雑さはあるとはいえ 継続していただきたい。</p>	4
		<p>大口滞納者の滞納整理 第4回目の公売の実施</p>	3	<p>最低限の成果があったと認める。 難しい問題ではあるが、将来的な展望を持って取り組んでいただきたい。</p>	3
	公共施設等の整備と効率的管理	<p>本庁舎(災害対策本部)の耐震補強 (1) 市役所庁舎耐震補強工事を2ヵ年継続事業として実施中。 災害時拠点施設の機能強化として、災害時に勝山市災害対策本部を設置する市役所庁舎の耐震補強工事を実施する。 (2) 耐震補強工事に伴う庁舎リニューアル改修工事の実施 市役所庁舎耐震工事施工に合わせ、老朽化の進んだ部分等のリニューアル工事を実施する。</p>	5	<p>十分な成果があったと認める。</p>	5
行政への取り組み	広域行政の推進	<p>消防組織の広域化への対応 広域化へ向けて勉強会レベルの組織設立</p>	3	<p>最低限の成果があったと認める。勉強会の設立時期が遅かったとはいえ、目標は十分達成されており、評価は5でもよいという意見があった。</p>	3

2. 少子・長寿化等に対応した人にやさしいまちづくり

医療体制の整備	医療体制の充実	<p>福井社会保険病院が奥越において果たしている機能を継続させる 4月 県との協議(4/7) 大野市への働きかけ 研究会を設置 北信越市長会へ要望 ～10月 医師会・福井社会保険病院との個別協議をすすめるなか、区長会も含めた中で「奥越地域の医療体制」を検討 市民への説明会(フォーラムの開催) ～12月 市民の望む地域医療のあり方をまとめる 大野市と連携して社会保険病院の今後のあり方について方向性を検討する</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 目標が多く分かりにくいので、目標設定を明確にされたい。</p>	4
共働きを支える体制づくり	保育園運営の充実と施設の再編成	<p>民間保育園の認定子ども園化に取り組む 行革の一層の推進のため、民間保育園の認定こども園化を支援する。</p>	2	<p>あまり成果がなかったと認める。 進捗がなく成果もなかったが、市単独では決定が困難な部分があることを考慮し、評価は2とする。</p>	2
	多様な保育ニーズへの対応	<p>北、西、北郷児童センター、野向児童ホールの小学校空き教室利用等新たな運営方法に対応 (1)北、西児童センターは成器西小学校、村岡小学校に機能を移転するために平成21年度に教室の改修工事を行う。空き教室も2教室から3教室に増設したい。 (2)野向児童ホールは保育園の体育館の耐震がないことから、移転先の再検討を教育総務課と協議する。 (3)北郷児童センターの機能移転は新たな教室(場所)を学校と教育総務課と協議する。</p>	5	<p>かなりの成果があったと認める。 目標にある北郷児童センターの機能移転については未実施であるため、評価は4とする。</p>	4

子育て支援等の充実	子育て支援の充実	<p>各種子育て支援事業の推進 平成22年度から26年度までの子育て支援の目標を定める次世代育成支援地域行動計画を21年度に策定する。</p>	5	十分な成果があったと認める。	5
生活の自立に向けた福祉の充実	障害者福祉の充実	<p>障害者自立支援協議会の組織化等による障害者支援体制づくり 「奥越地区障害者自立支援協議会」(平成19年10月設立)において、障害者を取り巻く地域や福祉サービスの課題を整理するとともに、まとめられた課題について具体的な取組みと更なる対応策の研究を進める。さらに、同協議会を構成する機関との相互の連携を強化していく。</p>	4	かなりの成果があったと認める。	4
	生活困窮者の福祉	<p>生活保護世帯の稼働年齢層に対する就労支援事業の強化 自立支援プログラムに基づき、生活保護世帯の自立支援を継続して強化していく。特に、就労支援プログラムにより、稼働年齢層に対する就労支援を推し進める。困難ケースについては、ハローワークとの密接な連携により地道にかかわっていく。</p>	4	かなりの成果があったと認める。	4
	福祉のまちづくりの実現	<p>福祉バスの運行範囲の拡大についての検討 さらに柔軟で利用しやすい福祉バスの運行体制について検討、実施する。</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 「利用しやすくする」ことができたのなら、評価は5でもよいという意見があった。 今後は利用者の要望に応えるべく努力をされたい。</p>	4
安定した年金・保険体制等の確立	介護保険等の健全運営、国民健康保険、	<p>国保財政健全化 21年度後期高齢者支援金、前期高齢者交付金、20年度決算状況等を確認し、国民健康保険税の改正の検討を行う。</p>	5	十分な成果があったと認める。	5

3. 産業とまちのにぎわいなど若者に魅力あるまちづくり

農林水産業の振興	集落を基盤に考える 地域農業の振興	農業の担い手(認定農業者、集落営農組織)の育成 認定農業者個人 1増	3	最低限の成果があったと認める。 目標設定が低すぎると思われるので、さらに高いレベルでの目標設定により施策推進に努められたい。	3
		新たな米需給システムの確立 (1)これまで行政が行ってきた生産数量目標の配分を、農業者、農業団体が主体的に需給調整を実施する体制の確立。 (2)現在、政府内に6閣僚による「農政改革関係閣僚会合」が設置され生産調整など農政改革が検討されているため、その動向をみながら福井農政事務所、県、大野市を交え、JAテラル越前と協議を行う。	3	最低限の成果があったと認める。 国の方針が未定にもかかわらず、市としてはよくやっているの、評価は4でもよいという意見があった。	3
	地域ブランドの確立と 交流型農業の推進	循環型農業を推進する 勝山市における循環型農業の仕組みづくりの調査、研究を行う。	5	十分な成果があったと認める。 目標達成に向け、施策推進に積極的に取り組んでいる。非常によくやっている。	5
		農業特産品の開発推進・販売奨励支援制度の拡大 (1)特産品開発のための助成制度の検討 (2)市施設内に特産品直売所設置の検討 (3)勝山独自の特産品開発の推進	4	かなりの成果があったと認める。 目標達成に向け、施策推進に積極的に取り組んでいる。	4
	継続的な森林 管理の推進	市有林の経営計画の策定 ①市有林の間伐等の森林整備を42ha以上実施する。 ②勝山市特定間伐等促進計画を作成する。	5	十分な成果があったと認める。 市有林は市民共有の財産であることを認識していただきたい。 森林の持つ多面的機能が最大限に発揮できるように期待する。	5

工業等の充実	機能の強化 産業支援	産業振興支援策の充実(産業振興懇話会の充実と活用) 産業振興懇話会の充実と活用を図る	4	かなりの成果があったと認める。 将来子どもたちが勝山に帰って来られるよう、しっかりした産業基盤をつくり、雇用の場が整備されることを期待する。	4
	雇用対策の推進	就業の場の確保 (1)求人情報の公開 市広報および市ホームページを利用して実施する。 (2)勝山市地域職業相談室の PR・市広報に定期的に利用状況等を掲載する。 ・企業訪問の際に、事業者に対し相談室の利用を促す。 (3)ふるさと雇用再生事業および緊急雇用創出事業の実施について 平成21年度から平成23年度まで国費100%事業として実施	5	十分な成果があったと認める。	5
	新しい企業の誘致促進とベンチャー企業の育成	新しい産業を誘導する・新しい企業を誘致する (1)勝山市工業振興助成制度の一部改訂と進出企業等への周知 (2)小規模企業・新産業等への支援 (3)新しい企業の誘致	3	最低限の成果があったと認める。 既存産業の土台をどうするかをしっかりと検討したうえで、新規産業の掘り起こしを進められたい。	3
観光リゾート産業の推進	まちなか観光の推進	観光誘客の促進 (1)観光アドバイザー設置事業 (2)恐竜博物館との連携 (3)観光パンフ配置 (4)写真集の作成 (5)観光ガイドボランティアの育成 (6)観光協会との連携「継続」 (7)エーгентへの売り込み「継続」 (8)積極的な観光情報の提供 (9)環白山広域観光事業「継続」 (10)「九頭龍テラル高原」推進協議会事業 (11)福井坂井地区広域圏事務組合との連携を図る。	4	かなりの成果があったと認める。 観光誘客における目標を明確にされたい。また、行政と関係機関の連携を強化し、両者が同じベクトルで観光政策を進めていただきたい。	4

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 中心市街地の形成と にぎわいのネットワーク </p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 観光リゾートの推進体制の 整備と観光キャンペーン等の強化 </p>	<p> 四季折々の自然を利用した体験型宿泊旅行の企画と誘致 勝山市内を中心とした「体験プログラム」の商品開発と販売促進 </p>	3	最低限の成果があったと認める。	3
		<p> エコ(まちなか)サイクリング誘客の推進 (1) 観光客向けのレンタサイクルの整備 (2) 観光客を対象にしたコースを設定し、マップを作成、PRを行う </p>	1	<p> レンタサイクルは整備されたが、コース設定、マップ作成などソフト面がなされていないので、目標に対しては成果がなかったと評価する。 </p>	1
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 市街地にぎわい 拠点の形成 </p>	<p> まちの駅全国協議会への加入と民間活力による拡大振興 (1) はたや記念館ゆめおーれに事務局を置き、4月中に全国協議会へ加盟する (2) 4月中に既存駅に情報掲示板及びパンフレットラックを設置、各種パンフレットやマップ(20年度で作成済)を充実させ、案内機能の強化を図る (3) 先進地への視察や交流を行い、まちの駅長の資質向上を図る (4) (仮称)まちの駅めぐりツアー実施に向けて、内容の企画検討を行う (5) 川の駅設立後、ネットワーク化を図り連携を推進する (6) 加入駅の増加を図る </p>	5	<p> かなりの成果があったと認める。 加盟店の間でまだまだ温度差がある。今後は温度差を解消するためにも接客等の研修や勉強会を実施し資質向上に努められたい。 課題が残るので、評価は4とする。 </p>	4
		<p> まちづくり交付金事業の推進 次期都市再生整備計画の提出 ・現まちづくり交付金事業の事後評価結果と今後のまちづくり方策を踏まえ策定 </p>	5	<p> 十分な成果があったと認める。 目標設定を明確にされたい。 </p>	5

4. 環境に配慮した誰もが住みたくなる安全なまちづくり

交通体系の整備	バス体系の整備（乗りやすい鉄道の整備）	<p>利便性の高い電車・バス運行体制の確立 (1) 市内バスの見直し・効率化 (2) 勝山大野線の見直し（越前竹原駅までの延伸、檜曾谷・新町経由の検討） (3) 高齢化に対応した公共機関の環境整備 (4) 乗合タクシーの名称変更 ・10月ダイヤ改正時には、「市内バス」へ名称変更。</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 バス路線にはまだまだ改善の余地がある。市民のニーズを把握し見直しされたい。</p>	4
		<p>公共交通機関の利用促進 えちぜん鉄道利用促進 えち鉄利用者数目標数値 全線 330万人 勝山市内 16万人</p>	3	<p>最低限の成果があったと認める。 目標達成数値からいうと評価は4という意見もあったが、利用者が減少しているため、評価は3とする。利用者の増加に向けて更なる努力をお願いしたい。</p>	3
		<p>「恐竜バス」の効率的な活用 (1) 決定した愛称「恐竜バス“ダイナゴン”」の周知と公共交通機関利用も含めた市内観光地のPR (2) バス車内における観光PRの実施</p>	3	<p>最低限の成果があったと認める。</p>	3
まちづくりの推進 快適で安全な	防災体制の充実	<p>学校、市有公共建築物の耐震化を進める <勝山市建築物耐震改修促進計画> 平成27年度までに市有建築物の耐震化率を90%以上とすることを目標に、学校、体育館等の公共建築物の耐震化を進める。</p>	5	<p>十分な成果があったと認める。</p>	5

		<p>災害情報伝達方法の改善(同報系無線局の設置) (1)災害時に市民への情報伝達システムを確立するため、九頭竜川沿いと主要な避難所25箇所に同報系防災行政無線(市民向けには防災行政無線)を、またその他主要な施設等に個別受信機30台を設置する。(2ヵ年継続事業)今後、戸別受信機については、区長宅等必要な個所に年度計画を立てて随時整備する。 供用開始は、9月1日からの防災週間を目途とし、供用開始に合わせ市民参加の避難所開設訓練等の実施を検討する。 (2)緊急時一斉メール配信登録を推進する。 (3)ハザードマップの作成</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 目標達成状況から言えば評価は5でもよいという意見があったが、緊急時一斉メールの登録数で課題が残る。</p>	4
		<p>災害時要援護者支援計画に基づく要援護者の登録の推進と支援組織の構築 (1)要援護者の登録の推進 ・平成20年度から開始した災害時要援護者登録を推進するとともに、更新手続きのマニュアル化を図る。 (2)支援組織の構築 ・災害時要援護者の支援組織(自主防災組織)が各地区で組織化されるよう働きかけるとともに組織化を支援する。</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。</p>	4
	消防体制の充実	<p>市内全家庭における住宅用火災警報器の設置 平成23年5月末日までに、設置率100%になるよう市民に対して住宅用火災警報器の普及活動を行う。</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。</p>	4
医療体制の整備 救急・災害等の	救急応急手当の普及	<p>応急手当(AED)の普及 引き続き継続してAEDの啓発、普及につとめていく ・救急講習会及び普通救命講習を通じて、AEDの啓発、普及を実施</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 AEDを実際に取り扱える市民の割合が多いとはいえないので、さらなる普及促進に努められたい。</p>	4

循環型社会の構築に向けた 供給処理体制の整備	水の供給システムの 整備	平泉寺簡易水道の上水道への統合 簡易水道の上水道への統合計画を21年度末までに確定する。	5	十分な成果があったと認める。	5
	環境共生のまちづくりの 推進	「環境基本計画」「地方公共団体実行計画」「地域推進計画」を策定する (1)「地方公共団体実行計画」を策定する。 (2)「地域推進計画」を策定する (3)二酸化炭素排出量を減らすための市民プログラム作成 (4)エコ環境対策取組に優れた企業を表彰するシステム (5)ISO自己宣言の推進	2	あまり成果がなかったと認める。	2
		かつやまをきれいにする運動の推進 ・「かつやまをきれいにする運動」の推進 ・新規宣言団体 5団体	4	かなりの成果があったと認める。 レジ袋の無料配布中止については、コンビニやいくつかの事業所でまだ中止されていないところもある。	4
雪対策の推進 総合的な	雪に強い まちづくり	狭い道路の融雪化に順次取り組む 簡易消雪施設の設置基準の整理。実施に向けての設置場所の条件、候補地、行政と住民の役割分担等の基準作り。	3	最低限の成果があったと認める。	3
質の高い住環境整備	公営住宅の建設・ 管理の推進	住宅ストック計画に基づく新市営住宅の建設 雇用促進住宅取得も盛り込んだ住宅計画に基づき新市営住宅を建設し、質の高い住環境の整備を図る。 H21年度予定 地質調査、設計の実施	5	十分な成果があったと認める。	5
		雇用促進住宅(下毛屋住宅)の取得と運営 雇用促進住宅(下毛屋宿舎)の取得と運営	5	十分な成果があったと認める。	5

5. 誰もが学び心が通うふれあいのまちづくり

学校教育の基盤整備と 環境の充実	「生きる力」を育成する 教育の推進	<p>「生きる力」を育成する教育の推進</p> <p>(1)授業改善の推進 (2)いじめ対策の推進 (3)小中連携教育</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 教員による授業改善の努力を継続していただきたい。 いじめ対策については、学校・相談員・保護者・行政の連携をお願いしたい。</p>	4
	教育環境の整備	<p>鹿谷小体育館耐震補強工事を初め耐震度の低い施設から順次移行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成器西小渡り廊下棟 耐震補強工事 ・成器西小管理棟 耐震補強工事 ・村岡小渡り廊下棟 耐震補強工事 	4	<p>かなりの成果があったと認める。</p>	4
次世代を担う青少年を 地域で育てる	地域参加活動の支援	<p>福井型コミュニティ・スクール</p> <p>(1)学校評議員制度の効果的な運営を行う。 (2)アクションプランとともに、活動の継続、充実を図る。</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 全ての地域で子どもたちが地域の行事に参加できるような仕組みづくりを検討されたい。</p>	4
	アクションプラン 21	<p>次世代育成アクションプラン</p> <p>(1)学校・地域・家庭が一体となり、次の具体的取組み事項を基本に計画を立案し、推進する。 (2)次世代育成推進委員会全体研修会を開催する。 (3)次世代育成委員会の取組を広報したり、啓発活動をしたりする</p>	4	<p>かなりの成果があったと認める。 学校教育の問題は、家庭の教育や問題と連動しているので、将来に向けてしっかりした対応を望む。</p>	4

	男女共同参画基本計画	<p>男女共同参画社会の実現(男女共同参画具体的行動計画の策定、実行)</p> <p>(1)勝山市男女共同参画基本計画における行動計画を10月政策ヒアリングに提示する</p> <p>(2)勝山市男女共同参画基本計画の進行管理をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策ヒアリングで進行管理できる仕組みを構築 <p>(3)勝山市男女共同ネットワークへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぞみフェスタの開催 11月実施 ・講座の実施 2回実施 ・啓発事業の実施 6月男女共同参画月間に実施 <p>(4)男女共同参画キャッチフレーズの募集 夏実施</p>	3	最低限の成果があったと認める。	3
	食育の推進	<p>食育の推進</p> <p>(1)勝山市食育推進計画の進捗状況や効果の検証を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝山市食育推進連絡会議(庁内8課)の開催 ・勝山市食育推進会議(12関係団体16名)の開催 <p>(2)勝山市食育推進計画の周知</p> <p>市広報における食育コラムの連載(4月~3月)</p> <p>6月食育月間に併せた、街頭啓発キャンペーンの実施</p> <p>(3)平成21年度食育取組み計画に基づく取組の実施(4月~3月)</p>	4	かなりの成果があったと認める。 進捗状況が一般市民には分かりにくい。	4
伝統と歴史に培われた文化の継承	史跡整備と歴史的町並み環境の整備	<p>史跡白山平泉寺旧境内整備事業の推進(白山平泉寺の発掘地とガイダンス施設整備)</p> <p>国史跡白山平泉寺旧境内総合整備事業(5か年計画の第2年目)の推進</p> <p>(1)ハード面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西蓮院および下の園地整備を進める ・僧坊区画2遺構表示の整備(僧坊内整備)を進める ・門、土塀の復元のための実施設計を行う・ガイダンス施設の実施設計を行う <p>(2)ソフト面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平泉寺かわら版」を引き続き毎月発行する中で、史跡整備の内容を地元伝える。 <p>あわせて市ホームページにもアップし、広く周知させる。</p>	3	最低限の成果があったと認める。 「かわら版」は、市民が発掘の成果を知る大切なツールとなるので、これからさらに充実させていただきたい。	3

	<p>世界遺産登録に向けての取り組み</p> <p>(1) 国史跡平泉寺の魅力を広く県内外に伝える。</p> <p>① 白山文化フォーラム、世界遺産講演会等の開催。</p> <p>② 関西学院大学での平泉寺発掘成果出張展示の開催。</p> <p>(2) 歴史に触れる機会の少ない層にも国史跡平泉寺の魅力を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に親子を対象にした平泉寺歴史オリエンテーリングの開催。 <p>(3) 白山国立公園、国史跡のすばらしい景観をみんなで守り伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民による春の平泉寺一斉清掃にあわせ、市職員・市民ボランティアも参加する。 	4	かなりの成果があったと認める。	4
	<p>木下家住宅の買収と国重要文化財指定を目指す</p> <p>(1) 木下家住宅を9月末までに買収する。</p> <p>(2) 重要文化財指定後の具体的な管理活用計画を今年度中に策定する。</p> <p>(3) 来年度、重要文化財の指定を受けられるよう資料を整える。</p>	5	十分な成果があったと認める。	5